

足回り (3)

CBR600RR

●リアサスペンション

＜ユニットプロリンクサスペンション＞

リアサスペンションには、ショックユニットをスイングアーム上部とロアリンクのみでマウントし、フレーム上部とは直接リンクしていない構造を持つ Honda 独自の先進機構、ユニットプロリンクサスペンションを従来同様採用し、安定した減衰力とショック吸収性を飛躍的に向上させ、優れたトラクション性能を発揮するとともに先進的な外観を演出しています。

ショックユニットがスイングアームの動きと完全に独立した作動を行うことで、コーナリング中などにおける車体のロール時の挙動を安定させ、優れた路面追従性と高い旋回性能を発揮します。

また、リアサスペンションは、ピストン受圧面の形状変更、及びバルブ剛性を最適化し、低速域の過渡特性の改善と熟成によって、作動初期より路面状況の適確なフィードバックを可能とし、高いスタビリティー性と軽快なハンドリング特性を実現しています。

●スイングアーム

スイングアームは、従来同様ピボット部分をアルミ鋳造構造、アーム右側をアルミプレス構造、アーム左側をアルミ押し出しチューブでやぐら型に構成した目の字断面構造とすることで、軽量化に加えて、絶妙な剛性バランスも確保しています。

●ホイール

前・後ホイールは、CBR1000RR に採用し好評の新デザインの新 12 本スポークの軽量アルミキャストホイールを採用しています。

従来モデルに対してスポーク数を増やすことにより、タイヤ接地点から受ける各種方向の荷重に対する剛性をより均等にし、路面追従性に優れたサスペンションとあいまって操縦フィーリングを向上しています。

